

市民と議会を結ぶ架け橋

上野原市 議会だより

No. 75

令和5年
11月発行

9月定例会



特集

うえのはらで頑張る人
グラウンドゴルフ
島田桂生会のみなさん

特集 うえのはらで頑張る人	2
定例会で決まった主なこと	4
議決結果等一覧表	6
会期中の審査	7
決算特別委員会	9
閉会中の委員会活動	12
一般質問	14
市民の声	20



うえのはらで頑張る人 Vol.28 グラウンドゴルフ 島田桂生会のみなさん



高齢者でも身体に負担もなく、ルールもやさしく、気軽に楽しめるスポーツ、グラウンドゴルフの練習会場を訪れ、お話しを伺いました。大変暑い日でしたが、みなさん元気にプレーしていました。

いつ頃から活動

老人クラブの活動は旅行が主でしたが、熟年の男女が誰でも平等に楽しめるスポーツとして、グラウンドゴルフを取り入れました。20年程前に4人で始めたのですが、このスポーツの面白さが伝わり、次第に大勢になってきました。

練習は何名くらい



会員は38名で、86歳を頭に80代の人も多いです。練習日は毎週火曜日と金曜日で、練習方法は5名1組で



仲間が多く、明るく楽しい！

県大会・全国大会出場も

6チームが大会方式に準じて行っています。練習には市内全域から集まり、飛び入り参加も大歓迎です。

グラウンドゴルフの良さは

ゲートボールと違い、自分の考えと責任でスコアーをまとめますので、自分の努力が結果に表れます。選手同士が励まし合うなど、チーム内が朗らかに楽しくプレーできます。

全国大会まであるのですか

市の大会は桂川野球場で行いますが、全国



大会の予選会や県大会などは、南アルプス市で行われ、各市町村から400名ほどが集まります。昨年は上野原からも全国大会へ数名出場し、山梨県の優勝（文部大臣杯受賞）に貢献しました。

練習場所などは



間はここが使えなくなるので練習場所を探するのに苦労しています。

良かったことは

仲間が多くなり、雑談にも花が咲いて明るく楽しいです。いつも練習日が続きます。練習日には4千歩近く歩きますし、家でも足腰を鍛えていますので、お陰で皆さん健康を維持・増進しています。



市や議会に望むことは

市内のグラウンドゴルフ人口は、2000人を超えており、今後さらに増加すると思えますので、専用グラウンドが欲しいですね。また、使用料をもう少し安くして欲しいです。



取材を終えて

グラウンドゴルフは、ルールが比較的簡単で、体力的にも誰でも無理なくできることが人気を呼んでいることを知りました。練習している皆さんがとても若々しく、はつらつとしているのを拝見し、スポーツの素晴らしさを再認識させていただきました。

9月
定例会

定例会で決まった
主なこと

令和5年第3回定例会が8月31日から9月22日まで23日間の日程で開かれました。

審議された議案

市長提出議案	26件
請願	4件
発議	4件
計	34件

※議案名・議決結果等は6ページをご覧ください。

発議第4号 上野原市長の給与の特例に関する条例制定について

条例
制定

市長の給与等を半減する
特例条例が制定

市長の給与等については、昨年度と同様に半減となっていました。六月議会において議員発議により「上野原市長の給与の特例に関する条例を廃止する条例」が制定され満額支給となっていました。今議会において同じく議員発議により「上野原市長の給与等を半減するための特例を定める条例」が制定されたため、再度、半減となりました。

議案第93号

上野原市印鑑条例の一部を改正する条例制定について

条例
改正

スマートフォンで印鑑証明書の
交付申請が可能となります

移動端末設備（スマートフォン等）に記録された、利用者証明用電子証明書を利用した、印鑑登録証明書の交付申請を可能とするものです。

請願第5号

「改正マイナンバー法を見直し、健康保険証の存続を働きかける意見書提出」を政府に送付することを求める請願書

請願

健康保険証の廃止の見直しを

改正マイナンバー法が成立し、来年秋に健康保険証の廃止が決まりましたが、トラブルが多発しているため、制度自体を見直すことを求める意見書を国に提出する請願について、起立多数で採択されました。

発議第6号

改正マイナンバー法を見直し、健康保険証の存続を働きかける意見書（案）の提出について

発議

健康保険証の存続について
意見書を提出

請願第5号の採択に基づき、頭書の意見書を国に送付することとしました。

請願第3号

加配定数の振り替えによらない小学校三十五人学級の実施、中学校での三十五人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書

請願

三十五人学級の実施など
教育全般に対しての請願

北都留小中学校PTA連合会ほか3団体から提出された頭書の趣旨の請願書について、全会一致で採択されました。

発議第5号

加配定数の振り替えによらない小学校35人学級の実施、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書(案)の提出について

発議

教職員定数改善等意見書を提出

請願第3号の採択に基づいて、要旨以下の項目について意見書を提出しました。

1. 教職員定数の実質的な増員で小中学校の35人学級を実施すること。
2. 学校の働き改革を行うため教職員定数の改善を推進すること。
3. 義務教育費国庫負担制度の堅持と共に国の負担割合を2分の1に還元すること。
4. 国における教育予算を拡充すること。

請願第6号

「消費税インボイス制度の2023年10月からの実施について再考を求める意見書」を政府に送付することを求める請願書

請願

消費税インボイス制度の再考を

インボイス制度は多くの免税事業者が取引先からインボイスの発行を求められ、課税事業者になることを余儀なくされます。新たな負担増で事業継続が困難になり、地域経済の停滞を引きおしかねません。インボイス制度の実施の再考を求める意見書を国に提出する請願について、全会一致で採択されました。

発議第7号

消費税の適格請求書等保存方式(インボイス制度)の2023年10月からの実施について再考を求める意見書(案)の提出について

発議

インボイス制度の再考について
意見書を提出

請願第6号の採択に基づき、頭書の意見書を国に送付することとしました。

請願第4号

上野原市デマンドタクシー運行に関わる請願

請願

デマンドタクシー運行の改善

デマンドタクシーに関して、上野原駅北口へ停留所設置、土日・祭日の運行、利用拡大のための積極的な広報活動を求めるものです。

令和5年第3回定例会議決結果等一覧表

◆賛否のあった議案 (○賛成 ●反対 ◎賛成討論者 ●反対討論者)

議案番号	付託委員会	案 件 名	天野淳一	佐藤澄男	清水一明	安留俊介	小俣 崇	内田倫弘	八木一雄	山口 薫	白鳥純雄	遠藤美智子	川田好博	東山洋昭	杉本公文	長田喜巳夫	審議結果	
発議4	—	上野原市長の給与の特例に関する条例制定について	○	●	●	◎	○	●	●	○	○		◎	◎	○	○	○	可決
111	決算特別	令和4年度上野原市一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	◎	◎	○	○	○	認定
請願5	文教厚生	「改正マイナンバー法を見直し、健康保険証の存続を働きかける意見書提出」を政府に送付することを求める請願書	○	●	●	○	○	●	●	○	○		◎	◎	○	○	○	採択

※委員会に付託された案件の賛成・反対は、委員長報告に対する賛否です。

◆全会一致の議案

※「—」は委員会付託が省略された議案です。

議案番号	付託委員会	案 件 名	審議結果
93	総務産業	上野原市印鑑条例の一部を改正する条例制定について	可決
94	文教厚生	上野原市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	
95		上野原市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び上野原市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	
96	予算特別	令和5年度上野原市一般会計補正予算(第3号)	
97		令和5年度上野原市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	
98		令和5年度上野原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	
99		令和5年度上野原市介護保険特別会計補正予算(第1号)	
100		令和5年度上野原市介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)	
101		令和5年度上野原市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	
102		令和5年度上野原市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	
103		令和5年度上野原市大目財産区特別会計補正予算(第1号)	
104		令和5年度上野原市甲東財産区特別会計補正予算(第1号)	
105		令和5年度上野原市巖財産区特別会計補正予算(第1号)	
106		令和5年度上野原市島田財産区特別会計補正予算(第1号)	
107	令和5年度上野原市上野原財産区特別会計補正予算(第1号)		
108	令和5年度上野原市檜尾根外十二恩賜林保護財産区特別会計補正予算(第1号)		
109	令和5年度上野原市秋山財産区特別会計補正予算(第1号)		
110	令和5年度上野原市西棚ノ入外十一恩賜林保護財産区特別会計補正予算(第1号)		
112	決算特別	令和4年度上野原市病院事業会計決算認定について	
113	総務産業	令和4年度上野原市病院事業の資本金の額の減少について	可決
114	—	損害賠償の額を定め、和解することについて	受理
115		損害賠償の額を定めることについて	
116	—	令和4年度上野原市継続費精算報告書の報告について	可決
117	—	令和4年度上野原市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	
118	総務産業	山梨県東部地域行政不服及び情報公開・個人情報保護審査会共同設置規約の変更について	可決
請願3	文教厚生	加配定数の振り替えによらない小学校三十五人学級の実施、中学校での三十五人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書	採択
請願4		上野原市デマンドタクシー運行に関わる請願	
請願6	総務産業	「消費税インボイス制度の2023年10月からの実施について再考を求める意見書」を政府に送付することを求める請願書	可決
発議5	—	加配定数の振り替えによらない小学校35人学級の実施、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書(案)の提出について	
発議6		改正マイナンバー法を見直し、健康保険証の存続を働きかける意見書(案)の提出について	
発議7		消費税の適格請求書等保存方式(インボイス制度)の2023年10月からの実施について再考を求める意見書(案)の提出について	

予算特別委員会

委員長 山口 薫
副委員長 天野淳一

委員 議長を除く
他 11 議員

議案第96号 令和5年度上野原市一般会計補正予算(第3号)

補正
予算

7千291万7千円の増額補正

9月4日に開かれた予算特別委員会で、上野原市一般会計補正予算(第3号)及び特別会計補正予算計15件の審査を行いました。各課から担当職員の出席を求め、質疑を行いました。採決の結果、全会一致で可決すべきものと決定しました。

主な歳出

- 総務費 5千648万4千円
ふるさと納税特産品開発事業費補助金 114万円
災害情報提供サービスにおける通信費等 1千25万5千円
- 民生費 747万8千円
秋山小学校体育館倉庫の学童保育施設への改修工事費 1千122万円
- 衛生費 2千398万4千円
带状疱疹等の予防接種事業費 179万円
- 農林水産業費 1千987万5千円

林道修繕費および支障木伐採費用等

■ 商工費 853万3千円
679万6千円

ミューの森を掲載した新たな観光ガイド

■ ブックの作成費等 596万1千円

■ 土木費 △1億915万2千円

社会資本整備総合交付金事業費

△4千676万3千円

橋りょう長寿命化修繕事業費

△6千277万6千円

■ 台風や市道の維持管理費 2千566万円

■ 消防費 658万4千円

■ 教育費 6千86万8千円

上野原小学校体育館屋根修繕等

2千548万円

旧西原小学校ケヤキ伐採作業等

197万9千円

※土木費の減額は国庫補助金の査定減によるものです。



上小体育館

災害時避難情報等
電話・ファックスで配信

【配信する情報】
- 避難所(避難場所)の指定
- 避難所(避難場所)の指定
- 避難所(避難場所)の指定

【配信方法】
- 電話
- ファックス

お問い合わせ 危機管理課 危機管理課 0262-3145

総務産業常任委員会

委員長 安留 俊介
副委員長 天野 淳一
委員 清水 一明
内田 倫弘
山口 薫
遠藤 美智子
杉本 公文

9月6日、委員会を開催し、条例制定1件、その他3件、請願1件の審査しました。

議案第93号「上野原市印鑑条例の一部を改正する条例制定について」は、「コンビニ交付の印鑑証明書の申請について、スマートフォンを用いての交付も可能とするものです。」

議案第114号「損害賠償の額を定め、和解除することについて」は、化学消防自動車と車両が衝突し、相手を負傷させた事故について和解除するものです。

議案第115号「損害賠償の額を定めることについて」は、公用車と車両が衝突し、相手を負傷させた事故について損害賠償の額を定めるものです。

議案第118号「山梨県東部地域行政不服及び情報公開・個人情報保護審査会共同設置規約の変更について」は、個人情報



の保護に関する法律の改正に伴い、規約を変更するものです。以上の4案件については、いずれも全会一致で可決すべきものと決定しました。

請願第6号「消費税インボイス制度の2023年10月からの実施について再考を求める意見書を政府に送付することを求める請願書」は、制度の実施を見送り、政府に検討を求めるもので、全会一致で採択すべきものと決定しました。

文教厚生常任委員会

委員長 川田 好博
副委員長 小俣 崇
委員 佐藤 澄男
八木 一雄
白鳥 純雄
東山 洋昭
長田 喜巳夫

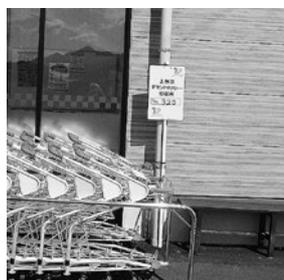
9月6日、委員会を開催し、条例制定2件、請願3件の審査しました。

議案第94号は、放課後児童支援員について、2年以内に県の講習を修了することを条件に支援員とみなす措置を無期限化するものです。

議案第95号は、特定教育・保育施設、特定地域型保育事業、家庭的保育事業等について、条文中に引用されている保育所保育指針の制定権限が、厚生労働大臣から内閣総理大臣に移行されたため、条例を改正するものです。

以上、当局提出2案件について、いずれも全会一致で可決すべきものと決定しました。

請願第3号は、小中学校の35人学級の実施、教職員定数改善など、子どもたちのゆたかな学びや学校の働き方改革を実現す



るために、国に意見書を送付することを求めるものです。

請願第4号は、デマンドタクシーの運行の改善を求める請願です。

請願第5号、健康保険証の継続を働きかける意見書を国に送付することを求めるものです。

請願第4号については、市に對し、地域公共交通活性化協議会と協議し、その結果等を報告することを求める附帯意見がふされました。

請願第3号と第4号は全会一致で、請願第5号は起立多数で、採択すべきものと決定しました。

4年度 決算

私たちの納めた税金の 使い道を審査しました

令和4年度の決算認定について、議長と監査委員を除く12人の議員で決算特別委員会が設置されました。9月8日、11日、13日の延べ3日間にわたり審査を行いました。

各課から担当者の出席を求め、令和4年度の収入・支出について、無駄なく効率的に使われたか、その成果等について審査を行いました。延べ91件の質疑が行われました。最終日には、1人の委員が総括質疑を行いました。

審査の結果、議案第111号「令和4年度上野原市一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について」は、異議があり、起立採決した結果、賛成多数で認定すべきものと決定しました。

また、議案第112号「令和4年度上野原市病院事業会計決算認定について」は認定すべきものと、議案第113号「令和4年度上野原市病院事業の資本金の額の減少について」は可決すべきものと全会一致で決定しました。



清水一明委員長



佐藤澄男副委員長

令和4年度の決算規模

一般会計

歳入	131億1770万8059円	前年度比 3.2%増
歳出	124億670万1880円	前年度比 3.9%増

特別会計 (16会計)

歳入	70億8249万1686円	前年度比 0.5%減
歳出	67億2332万2018円	前年度比 0.6%減

決算特別委員会

委員長 清水一明

副委員長 佐藤澄男

委員 天野淳一 安留俊介 小俣 崇 内田倫弘 八木一雄
山口 薫 白鳥純雄 川田好博 東山洋昭 杉本公文

上野原中学校は改修？

- Q** 上野原中は、建築後約40年になるが、今後の方向性は。
- A** 建物の耐力度調査の結果、改修でも対応できるとのことですが、人口減少や少子化における将来の生徒数を踏まえながら、市全体の中学校の課題として捉えるのかなど、様々な選択肢を含め検討します。

Q 質問 と A 答弁

決算特別委員会の議論の中から、いくつかの内容について、要約を載せます。

大学等奨学金の貸付

- Q** 大学奨学金の応募状況は。
- A** 応募は1人で、1人に給付されました。応募が少なかったのは、他の制度を活用されていると考えられます。
- Q** 他の奨学金制度と併用については。
- A** 併用可能です。

コミュニティ・スクール

- Q** コミュニティ・スクールの委員の任命はどうしているか。
- A** 各学校からの推薦に基づいて審査を行い、任命しています。各学校の特色を活かして推薦してもらっています。
- Q** 具体的な成果は。
- A** 学習支援などで協力を頂いています。ある中学校では、樹木の伐採・剪定について、コミュニティ・スクール委員を通じて、地域の方に仕事をしてもらったなどの取り組みがありました。

移動図書館車の活用

- Q** 移動図書館車を活用した図書館利用者拡大の考えは。
- A** 夏休みに小学校に出動するなど、現在は市内7か所に定期的に出動しています。今後は、農林業まつりなどのイベントにも出動を予定しており、図書館利用者の更なる拡大を図ります。



蜂防護服の運用

Q 蜂防護服の個数は何着あるのか。また、スズメバチの駆除に、市から数回出動しているが、これには一定の基準があるのか。

A 蜂防護服は現在5着保有しています。スズメバチの駆除に出動する対象は、民地は出動しませんが、通学路や市の敷地などの場合、状況に応じて出動しています。

母子健康手帳アプリ

Q 母子健康手帳アプリの利用率と未利用の理由は。

A 利用率は29.6%、0～3歳は85%以上（提出資料より）。アプリの内容は乳児・幼児のものが多く、特に3歳児までのものが殆どです。今後は子育て支援担当、医療保険担当、教育委員会とも連携を取り、3歳以上の内容も充実させ情報発信に取り組んでいきます。

再商品化合理化拠出金？

Q 再商品化合理化拠出金（ペットボトル）の収入が3倍にもなっているのは。

A びんやペットボトルなどの一般の家庭でごみとなって排出される商品の容器や包装は、再商品化（リサイクル）を促進するために容器包装リサイクル法が定められています。公益財団法人日本容器包装リサイクル協会が取りまとめ、リサイクル事業者に売り渡した金額と現に要した費用に差額が出た場合に、各市町村等に再商品化合理化拠出金として配分されます。年度ごとに配分額に違いが出ます。

職員の採用

Q 土木職の採用が数年間ないが、どのようになっているか。

A 土木職が不足で確保については苦慮しています。現状は、事務職を山梨建設技術センターで研修させ、土木職を確保しています。今後の採用については一次、二次と考えながら確保を図っているところです。

会計年度任用職員の処遇改善

Q 正規職員と会計年度任用職員の賃金があまりにも差があるのではないか。

A 会計年度任用職員の事務職の時給は949円、県内の最低時給は現在898円で、10月からは答申で938円となっています。今後、処遇改善について検討していきます。

専門職で資格を持った会計年度任用職員の処遇改善も今後検討します。



消防団と消防本部との関係

- Q 消防団と消防本部の信頼関係構築はどの様になっているか。
- A コロナ前は共同で訓練等を行ってきました。今後もさらなる信頼関係の構築に努めていきたいと思えます。

防災士の資格取得の支援

- Q 防災士取得に関する市の支援が、市職員と市地域防災リーダー講習受講者に限られているが、自分で勉強している一般の人にも支援できないか。
- A 現在、市職員と地域防災リーダー受講者に、甲斐の国防災士養成講座を受け、防災士になっていただいています。が、今後は、一般の人についても検討していきたいと思えます。

子ども用の防火衣

- Q 子ども用の防火衣の保有数、貸し出しはしているのか。
- A 保有数は20着です。現在、庁舎見学の際の写真撮影に使用しており貸し出しはしていません。今後貸し出しも検討していきたいと思えます。



議会だより編集常任委員会

委員長 内田倫弘
副委員長 川田好博
委員 天野淳一
佐藤澄男
安留俊介
山口 薫

8月7日、閉会中の継続調査として「議会だよりの編集・発行について」視察を行いました。

甲州市議会の議会広報編集委員会は、全議員17名中9名で構成し、全員が議員の任期4年2年間は所属しています。

発行は年4回、その都度委員会を3、4回開催し企画や記事作成、誤字脱字のチェックを委員が行います。

編集用ソフトは使わず、ワードやエクセルの決められた様式に入力し、採決の結果等と、文字数の指定、表紙写真は議会事務局が用意しています。

山梨市議会の議会だより編集委員会は、全議員17名中6名で構成し、正副議長、各常任委員長、議会運営委員長で構成し、任期は1年とのこと。

発行は年4回、上野原市と同様に表紙と裏表紙はフルカ

ラー、その他は2色刷りとのこと。

分担は、代表質問と一般質問は質問した議員本人、議会活動日誌と編集後記は議会事務局と編集委員、その他は議会事務局が記事を書き、編集は業者に委託しているそうです。

今回の視察では、委員の選出方法等参考になるところがありました。

今後は、良いものは積極的に取り入れ、より多くの市民に手に取ってもらえるような議会だよりを目指します。



総務産業常任委員会

委員長 安留 俊介
副委員長 天野 淳一
委員 清水 一明
内田 倫弘
山口 薫
遠藤 美智子
杉本 公文

閉会中の継続調査として、8月3日、「バイオマス発電について」、「土地改良事業について」、「地域活性化施設について」調査を行いました。

大月バイオマス発電株式会社は2018年12月より稼働を開始し、現在の送電量は年間約1億kWhで、一般家庭の消費電力換算で約3万世帯分に相当し、発電した電力は、固定価格で買い取ることを国が約束するFIT制度などにより、20年間の長期事業計画において安定稼働を継続できれば採算は取れる見込みとのことです。

鶴島及び一古沢の土地改良区の事業については、建設工事発生土を活用して農地造成を行うもので、建設発生土受入代金を財源として、予算額は鶴島が約50億円、一古沢が約55億円、造成面積は鶴島が9・3ha、一古



沢が10・0haで、完成予定年度は鶴島が令和7年度、一古沢が令和18年度とのことです。委員からは、市への移管は、管理面での不安が無い状態での意見が出されました。

ワインウォール・ウエノハラは、首都圏への情報発信の場としてワインを販売し、地域活性化につなげていきたいとのこと、委員からは、様々な発信ツールを積極的に利用していくべきとの意見が出されました。

文教厚生常任委員会

委員長 川田 好博
副委員長 小俣 崇
委員 佐藤 澄男
八木 一雄
白鳥 純雄
東山 洋昭
長田 喜巳夫

7月27日に閉会中の継続調査として「し尿処理事業について」視察を行いました。

はじめに桂川清流センターに伺い、下水道処理について説明を受けました。

この施設では富士吉田市、都留市、大月市、上野原市、西桂町の5市町の下水処理を行っています。処理水量の上野原市が占める割合は約46%とのことです。

桂川清流センター敷地内にし尿処理を設置する場合の課題点として、5市町の合意が必要であり、大規模災害による施設破損の際に仮設沈殿池を該当地へ設置する必要等が挙げられるとの説明がありました。

また、桂川清流センターの処理工程へのし尿の直接投入についても、放流水の水質を排水基準に適合させなくてはならな

いため、希釈した上で下水道の管渠に接続させる必要があるとのことです。

次に上野原市クリーンセンターに向かい、担当者より説明を受け、施設見学を行いました。

当市のし尿処理施設は、昭和43年に竣工し約55年が経過していることから老朽化が無視できない所まで進んでいるとの説明がありました。

委員会から、市にとって最善の選択が出来るよう努めることを要望しました。



各議員の主な質問項目

小俣 崇 議員

- 1 統一地方選挙を経て問われる進路について
- 2 市民生活に直結する諸課題について

山口 薫 議員

- 1 地域防災計画等の見直しについて
- 2 防災行動力の向上について 他

安留俊介 議員

- 1 避難所へのペットの受け入れについて
- 2 道路、公園等の管理(草刈等)について 他

長田喜巳夫 議員

- 1 友好姉妹都市交流について
- 2 観光振興について 他

杉本公文 議員

- 1 新型コロナウイルス対策について
- 2 人口減少対策について 他

東山洋昭 議員

- 1 観光行政と地域活性化について
- 2 地域公共交通について 他

清水一明 議員

- 1 上野原市の消防力について
- 2 マイナンバーカードについて 他

白鳥純雄 議員

- 1 地域活性化と安心への取り組みについて
- 2 熱中症対策と施設管理について

八木一雄 議員

- 1 こども家庭庁<こどもまんなか社会の実現>に向けて

川田好博 議員

- 1 新型コロナウイルス感染症
- 2 高齢者問題 他

佐藤澄男 議員

- 1 避難所について
- 2 透析患者について 他

統一地方選を経て問われる進路 市民生活に直結する諸課題

質問

地域の人口減少や少子化対策に国や県の支援を。

答弁

人口減少や少子化対策などに関しましては、財源も含めまして国が全国一律で実施すべきと考え、全国市長会やその他の機会を活用し、国に要望しているところです。

質問

自治体職員の能力向上について。

答弁

新たに盛り込むべき人材育成としては、DXをはじめ、大規模災害や感染症対応などの課題にも対応すべく、職員が新たなスキルを身につけることが必要であると考えます。

質問

自治体間の協働と連携の可能性について。

答弁

人口減少が進む中では、協力・共同できる分野については、連携していくことは大切であると考えています。今後、相模原市を含めた近隣市町村との連携の可能性について、検討していきたいと考えています。

質問

自治体と住民との合意形成について。

答弁

人口減少時代における合意形成の難しさは、実感しているところです。行政としては、これまで以上の丁寧な説明、理解を得るための



小俣 崇

他に地域活動休暇の創設と放課後児童クラブの夏休みに昼食の提供について質問しました。



持続可能な上野原のために
将来を見据えた対策を！



山口 薫

小規模集落対応について
接遇改善について



安留 俊介

質問

市防災会議は毎年開催し、地域防災計画の検証、扇山断層や相模トラフ等震災対策、富士山溶岩流からの大規模避難計画策定、桂川流域の洪水浸水対策等、現実に即した計画の検討と修正が必要であると思うが。

答弁

計画の修正が必要なことは認識しております。現在、地域防災計画における修正部分の洗い出しを行っています。今後、内容の検討や調整を行い修正案を作成します。

質問

被災者、元消防職・団員の活躍の場を明確化することと、区長は多忙であり、防災会長との兼務は難しいとの声も多い。防災行政の効率化の観点からも、これらの再検討が必要と思う。国連や科学者は、温暖化は人間が原因であり、このままでは地球に住めなくなる、エネルギーを余分に使い続ける生活スタイル変換の協力を求めているが、行政や事業者だけでなく、市民も、家庭内や職場等の社会的立場で、主体的・積極的に環境に配慮した行動を取っていく事が必要不可欠であると考えます。

答弁

市民も、家庭内や職場等の社会的立場で、主体的・積極的に環境に配慮した行動を取っていく事が必要不可欠であると考えます。

質問

市内には、10世帯以下の集落も多く、20世帯以下の集落が30以上も存在する。小規模な集落の様々な問題に対し、市はどのように対応し、また、今後の方策は。何を大切にし、何を变えていくのか、市民と行政の役割の見直しも含め、総合的に考えていく必要があると考えています。

答弁

早急に現状を把握するとともに、集落の人たちの生の声を聞きながら、その対応策を検討すべきではないか。今後、更なる接遇研修の予定は。

意見

他に、避難所へのペットの受け入れについて、道路、公園等の管理（草刈等）について質問しました。

質問

今後、更なる接遇研修の予定は。

質問

接遇研修をはじめ、ハラスメント対策、市内や庁舎内のサイン計画、市民のための市役所の在り方などにつ

質問

災害時、在宅避難者等への介護や物資の補給等以後のフォローをどのように行うか、日頃から隣組単位等で協力し合う対策を考えておく必要があると思うが。

答弁

在宅避難者等への対応は、日頃からの付き合いがある隣近所での協力体制が一番有効であると思います。

意見

市の地域防災リーダー、防



観光振興について

質問

観光振興については、周辺市町村との連携が必要と再三申し上げてきている。現在の状況は。

意見

加入していませんが、今後検討していきます。

上野原市観光協会では、大月市観光協会と桃太郎伝説について連携の強化を図っています。また、相模原市とも連携の強化が図れるよう検討しています。

質問

JR8駅トレッキング推進事業の現在の状況は。

この事業は終了していますが、現在はJR東日本主催の駅からハイキングのイベントを実施しています。上野原駅や四方津駅を出発し市内の神社や観光資源を巡り駅に戻るコースで実施しています。

答弁

加入していませんが、今後検討していきます。

質問

大多摩観光連盟と連携は。

青梅市などの4市、奥多摩町などの3町、松原村、丹波山村、小菅村3村の合計10市町村が当連盟に加盟しています。上野原市は現在



長田喜巳夫

当市は中央沿線と西多摩地域と隣接している。このため両地域との連携を深めるべきと考える。連盟に加わることで新たな観光振興の方向が見えてくる。広域的な連携となり各種の情報を得ることができると同時に共同のイベントに参加も可能となる。また、当市の情報を発信することもできることから積極的な取り組みをすべきである。

他に、友好姉妹都市交流、魅力的なまちづくり、人口減少とまちづくりについて質問しました。



人口減少対策としての結婚・出産・子育て支援策は

質問

結婚相談事業は時代に合わせ、見直す考えは。

現在、結婚相談員等からの紹介等を行っておりますが、登録者や相談者が伸び悩んでいる現状です。今後は、人間の結婚相談事業者や若い人達の考え方を参考に、時代に合った事業に変更できる様に検討します。

質問

新たな出産支援策として、市外の産院への通院費を市として助成をすべきでは。

答弁

通院費の助成につきましては財源が必要な事業であり、次期計画の中で関係各課で協議しながら検討していきたいと考えています。

質問

市長の子育て支援策の最も大きな公約は、学校給食費の無償化です。任期中に完全実施すべきですが、考えを伺います。

答弁

学校給食の無償化につきましては、私の大きな選挙公

約の一つであります。令和4年度には市内中学校の3年生の無償化、今年度からは市内中学校全体に拡大し無償化を実施するとともに、物価高騰による給食費単価引き上げ分の30円も公費負担を実施しております。市の課題は多岐にわたるため財源も限られますが、公約ですので、できる限り早期に実現できるよう努めます。具体的な時期は、現段階では来年6年度の当初予算にできる限り間に合うよう提案をするつもりです。

他に、コロナウイルス対策、情報通信基盤整備事業について質問しました。



杉本公文

上野原駅南口市営駐車場について



東山洋昭

質問 利用者満足度向上策と収支改善検討の進捗状況は。

答弁 令和5年4月から7月までの

利用者満足度向上策と収支改善検討の進捗状況は。令和5年4月から7月までの利用料収入は、前年に比べ、大きく増加しています。これはコロナ禍からの回復に加え、昨年の10月に1日最大料金を800円に設定したことにより、安心して駐車できるようになったことなどが要因と考えられます。また、利用者満足度向上策としては、キャッシュレス決済への対応による、パーク&ライドの促進や、入出庫管理のセンサー方式への改修による、利用状況のデータ収集など、改善の余地はあるものと認識しております。近隣の駅前駐車場の状況などを参考にしながら、利便性の向上に向けさらに取り組んでいきます。

意見 この駐車場の利用は30分以内であれば無料です。多く



の市民や利用者はこの時間内で入出庫します。しかしこの台数が管理できていない。先程の答弁のようにその入出庫がしっかりと管理できれば、利用実態がわかり、それらを分析・把握することにより、さらなる利用者満足度向上と利用促進につながるものと思います。私もこの進捗状況の把握とともに、担当課により良い方策を提案していきたいと思っています。

他に、観光行政と地域活性化、音声告知端末終了後の対応、クリーンセンターし尿処理施設について質問しました。

上野原市の消防力について



清水一明

質問 本年3月の定例会で、関係条例の改正により消防職員

答弁 本年3月の定例会で、関係

条例の改正により消防職員の定数を4名増員したが、これにより勤務体制等の課題は解決に向かったか。

答弁 秋山、榎原出張所からの職員引き揚げ等の課題解決に向けて、職員の増員を段階的に

行っている。4名の増員による効果をしっかりと検証し、課題解決に取り組む市民の安全で安心な暮らしを守るため、二つの出張所の常備体制の堅持に取り組んでいきます。

質問 日頃の訓練はどのような

意見

市町村消防の原則のもと、消防の責任を十分に果たすため、消防力の確保を積極的に取り組むことを期待します。

答弁 日頃の訓練はどのような

複雑多様化する事案が多いことから訓練を工夫し、危険が伴う火災、救助は基本を重視、迅速に的確な搬送を求められる救急では、訓練人形を活用した実践的な訓練を毎日行っております。

質問 消防団の現状と課題について。

答弁 分団幹部の予想を上回る速

さで退職団員が増え、新入団員の確保に苦慮しており、地域の消防力を落とさないため消防団組織の検討や、防災フェスタ等イベントでのPR活動を積極的に進めています。

質問 他に、マイナンバーカード、DXの推進（書かない

窓口）について質問しました。

他に、マイナンバーカード、DXの推進（書かない窓口）について質問しました。

質問 消防団の現状と課題について。



熱中症対策、地域活性化と
安心への取り組み



白鳥純雄

質問

7月にオープンしたミュー
の森の利用者状況と、施設
改修の現状、進入路の改良
状況について伺う。

答弁

8月末の時点で宿泊可能な
部屋に対し、全690組
2413人の利用で、稼働
率48・7%です。現在4棟
のグランピング施設を建設
中、10月末には完成予定で、
全ての改修や整備が完了し
ます。現在施工中の萬瀬橋
先の改修工事は年度内を目
途に進め、県道から萬瀬橋
手前までについては、来年
夏の繁忙期前までの完成を
目指しています。

質問

小・中学校での熱中症対策
と、学童保育施設・運動施
設の熱中症対策について伺
う。

答弁

小中学校では、熱中症予防
運動指針及び暑さ指数（W
BGT）を用いて段階に応
じた対策を行っています。
学童保育所の全部屋にエア



質問

コンが完備され室内での対
策は取れています。室外で
の活動は（WBGT）の数
値などを参考に体育館での
運動への判断を行っています
。運動施設の空調設備等
は整っていませんが、対策
として注意喚起のポスター
を掲示し利用者に対策をお
願ひしています。

答弁

緊急時の指定避難場所とな
る体育館の現状について危
機管理室の考えを伺う。
熱中症対策の必要性は認識
しています、今後関係各課
と検討します。

意見

あらゆる財源を利用して市
民の生命を守る取り組みを
お願いします。

こども家庭庁「こどもまんなか
社会」の実現に向けて



八木一雄

質問

本年4月に設置された「こ
ども家庭庁」は子どもの最
善の利益を第一に考え、子
どもに関する取り組み・政
策を社会のまん中に据え、
子どもたちの健やかな成長
を社会全体で後押しする事
を目指しています。本市で
は「こどもまんなか社会」
の実現に向け「子ども・子
育て政策」をどのように位
置づけ強化されるのか。

答弁

現在、第2期子ども・子育
て支援事業計画に基づいて
組織の改編など体制を整え
各事業を展開しています。
国が勧める包括的な切れ目
のない支援を行うとともに
に、現在策定中の「第3期
子ども・子育て支援事業計
画」で、「こども基本法」「こ
ども未来戦略方針」と整合
性を図り、「こどもまんな
か社会」の実現に向け事業
の充実強化を図ります。
子ども・子育て支援の体制

質問

子ども・子育て支援の体制



質問

強化のため、司令塔機能を
持つ新部署の設置は。

答弁

こども未来戦略方針や今後
示されるこども大綱など家
庭庁の動向も踏まえ、総合
的に考えていきます。当面
は「子育て保健課」を中心
に事業実施を行います。
子どもと家庭の福祉や健康
向上を目指す「こどもま
んなか社会」が早期に実現で
きるよう新たな「こども政
策」をやり遂げる決意は。
「こどもの権利を守り、こ
どもと家庭の福祉や健康の
向上、少子化対策」を途切
れることなく、職員が一丸
となり取り組みます。

総合的な高齢者対策を



川田好博

透析患者について



佐藤澄男

質問 高齢者問題で総合的な対策が必要では。

答弁 次期総合戦略の中で各分野の問題について課題を把握する予定です。

質問 自治会等が存続するために援助が必要では。

答弁 自治会活動が持続的に運営できるように自治会加入への支援、行政の協力業務のあり方についても十分に検討していきます。

質問 買い物難民対策は。

答弁 高齢者等の買い物の移動方法について関係機関、関係各課と利便性を高める方法を検討していきます。

質問 高齢者の孤立・孤独対策は。

答弁 日常生活が取り戻せるよう、集いの場の再開を促すと同時に、高齢者向けの健康教室への参加のすすめ、自主グループ化によるグループ活動の継続や認知症カフェの新設を積極的に進めています。

質問 死亡届の受理、国民健康保険への切り替え、転入・転出届の受理など、家族関係の変化、退職・離職などの機会を捉えて、必要な情報の提供を。

答弁 福祉部局と提携し、どのような情報を提供すれば効果的なかを検討します。

質問 加齢による難聴に対して、補聴器購入の助成を。

答弁 市単独では難しい状況ですが、社会参加を妨げる要因だけでなく、フレイルや認知症予防などに対しても効果の有無の検証も参考にしながら、検討と併せて財政支援についても引き続き県等に要望をしていきます。



質問 上野原市の透析患者の人数は何人か。

答弁 上野原市における透析患者は85人です。

質問 市立病院の透析患者の利用人数、また一日何人の治療が可能か。

答弁 月水金の午前が15人、午後が18人。火木土の午前が17人で合計50人です。一日の治療可能人数は33人です。

質問 医師及び機械等条件が揃った場合の市立病院の最高対応人数は何人か。

答弁 医療スタッフの増員により月水金の40人、火木土の午前のみで20人、合計60人まで対応可能となります。さらに目標として火木土の午後20人の拡充が可能な場合、最大で80人までとなります。そのためには臨床工学技士・看護師の増員が必要となり、実現に向けては、医療スタッフの人材確保と育成が必要不可欠な状況で

質問 他に避難所の看板設置、予防接種、ナラ枯れ、ヒルについて質問しました。

答弁 他に避難所の看板設置、予防接種、ナラ枯れ、ヒルについて質問しました。

質問 大雪・大雨・地震など災害時の透析患者対応は。

答弁 雪に対する対応は、予報により概ね10センチ以上の降雪が見込まれる時は速やかに除雪作業体制を整えておきます。大雨に対しては土砂崩落により道路が遮断された場合は、通行止めと迂回ルートの確保を迅速に行います。積雪や通行止めなどの状況を医療機関と共有し、消防署と連携を図り対応します。

質問 市立病院の透析患者の利用人数、また一日何人の治療が可能か。



市民の声



秋山青年会 会長
小笠原淳一郎さん

地域の為にできる事

秋山青年会は地域の活性化を目的としたボランティア団体です。主な活動は、道路沿いのゴミ拾い、秋山ふるさと祭りの開催です。ゴミ拾いは、地域の方や帝京科学大学の学生さんにも参加していただき、道路沿いに捨てられたゴミや不法投棄された粗大ゴミを回収し、地域の美化に協力してきました。お祭りでは、地域の方々に露店を開いていただいたり、市内で活躍されている方々にステージでパフォーマンスをしていただいたり、目の前で打ち上げられる花火も迫力があり、とても素敵なお祭りになっています。また、お盆の時期に帰省してくる人との交流の場所でもあり特別な一日となっています。市内や地域の方々の温かいご支援で今まで継続できている事に感謝しています。今年は台風の影響を考慮して中止の判断をしましたが、来年は開催できる事を祈ります。

12月定例会予定

日	月	火	水	木	金	土
11/26	27	28	29	30	12/1	2
		本会議	議案調査	議案調査	委員会 予算特別	
		傍聴可				
3	4	5	6	7	8	9
	委員会 総務産業 文教厚生	議案調査	議案調査	議案調査	本会議 一般質問	
					傍聴可	
10	11	12	13	14	15	16
	本会議 一般質問	本会議 一般質問 予備日	議案調査	本会議		
	傍聴可	傍聴可		傍聴可		

議会の傍聴について

通常の傍聴には予約の必要はありません。傍聴当日、3階議会事務局受付までお越しください。
委員会の傍聴については、委員長の許可が必要です。

託児サービスをご利用ください



市議会では、一般質問を傍聴する際、満1歳以上から就学前までのお子さんを無料でお預かりする託児サービスを実施しております。
ご希望の場合は、傍聴希望日の1週間前までに、議会事務局（62-3344）へお申し込みください。

編集後記



温暖化に伴う気候変動は年々激しさを増し、世界各地で山火事、洪水、竜巻等が起こり、国内でも熱中症患者が昨年比25%増となっています。国連は、温暖化は人間が原因であるとし、より便利に、より贅沢に等エネルギーを余分に使う生活スタイルを考え直す時期に来ていると訴えています。私たちも一人ひとりができる対策を考え、行動することが大切だと思います。当市の温暖化対策が一層進むことを望みます。本誌の編集委員会も、更に読みやすく有意義な情報をお届けできますよう、他市に勉強に行くなど頑張っています。（山口）



- 議会だより編集常任委員会
- 委員長 内田 倫弘
 - 副委員長 川田 好博
 - 委員 天野 淳一
 - 委員 佐藤 澄男
 - 委員 安留 俊介
 - 委員 山口 薫